

アンケート調査 まとめ（学生対象） 18人回答

1 こどもや若者にとって「鯖江市」がよりよくなるために、必要な施策(こんなことができるといいなと思うこと)などについて意見や提案をお願いします。

①鯖江市のこと ②家庭のこと ③学校のこと ④社会のこと

2 あなたが思う「やさしいまち」「しあわせなまち」とはどんなまちだと思いますか？その理由は？

		男	女
1 こどもや若者にとって「鯖江市」がよりよくなるために、必要な施策などについて	① 鯖江市のこと	・バスをもっと使えたらいい ・公共の施設がきれいだといい ・毎月、鯖江市で活躍している若者を記事にし、市民の目につきやすい場所に掲示することで活気が出ると思う ・外でバスケや様々なことができる広場	・地元の人々がつながりを持つことができるイベント開催 ・公共交通機関の改善 ・鯖江市の観光地やおすすめグルメなどのPRをより活発にすること ・SNSの活用を工夫する ・市民の認知を低いものを市民に向けてPRする ・インフラ整備 ・鯖江市図書館で勉強できるスペースを増やしてほしい ・こどもが安全に遊べる場所を増やす ・住民が欲している制度や整備を行う ・鯖江市に何があるかを発信すべき SNSを通じて若者が興味のある場所（カフェ、遊ぶ場所）を紹介する ・こどもや若者がもっと遊んだり運動ができる場所があるといい（熱中症対策で室内もあり）
	② 家庭のこと	・困ったことがあったらすぐに聞ける「意見箱」的なものがあるといい ・育児休暇を誰もが取りやすい環境 ・中学生、高校生の支援を厚くする ・鯖江市で推進しているトラッシュを各家庭に配置することで生ごみの減少のつなげる費用は市役所が1/3負担すれば希望者が出る	・自宅介護の支援（金銭面で） ・子育て支援 ・児童相談所や一時保護施設を市で運営する ・家庭内の問題は重複していることが多いため、関連部署のよりよい連携が大切 ・さまざまな支援制度をあるが、それを市民に広めていくことが重要（支援が必要な層へのアプローチ） ・家庭のことで困っている子どもや若者が気軽に相談に行ける場所を市役所に作る（LINEもあり）
	③ 学校のこと	・高校、中学校の数を増やす ・大学があるといい（県外からの人が増えるし、県内残留者も増える）	・学校だけでは体験できないようなことにも積極的に参加できるようなプロジェクトが増えるといい ・同学年としか関わらないので学年を混ぜて奉仕活動やレクリエーションをするといい ・中学校を増やす ・教育環境の整備 ・合宿通学のようなイベントを年1回くらいやってもいいと思う（楽しい思い出に残る） ・トイレを新しくしてほしい（内ズックで入れるようにしてほしい） ・鯖江市の文化や魅力に触れることができる授業 ・学校にいけない子供に対して居場所を作る（河和田の方はどうか？） ・悩んでいる子どもを減らすために相談しやすい環境を作る ・学校の宿題やテスト勉強ができる学習スペースが市役所があれば、勉強する場所がないこどもが気軽に訪問できる（越前市役所の5Fには学習スペースあり） ・トイレがきれいとか備品が新しいとテンション上がるので増やしてほしい
	④ 社会のこと	・鯖江市全体が参加できる祭りなどがあるといい ・サンドームや文化センターで行うライブなどと市が協力して鯖江の魅力を伝えていく	・残業時間の短縮や労働量の負担を減らすこと（特に教員の負担が大きい） ・社会福祉制度や支援についてもっと大々的に発信する ・こども、若者同士の交流を促すイベントの開催 ・道路がガタガタなのを直してほしい ・市民同士が関わるイベント ・鯖江市は子どもに対してたくさんの支援があるが、それを浸透させてより多くの人に利用してもらう ・職場での育休取得 ・保育士不足なので、待遇をよくして増加につなげる ・学生が鯖江で就職したいと思えるイベントがあればいい
2 「しあわせなまち」とはどんなまちだと思いますか？その理由は？	あなたが思う「やさしいまち」	・不自由なことがあってもすぐに対処が可能な町（すぐに対処できる業務体制があれば幸せ） ・一軒家を持ち、車で出勤出来て、駐車場に無料で停められ、渋滞がない町（渋滞すると優しくなれない）	・自分の居場所を感じられ、居心地がよいと思える町（周囲に受け入れられて協力しあうことで自分らしく生きていけるから） ・徒歩圏内で最低限度の生活ができる町（公共交通機関が少ないので年寄りも過ごしやすくなるから） ・みんなが平等で助け合える町（障がい者との壁を取り除いてお互いに理解しあうことが幸せにつながる） ・子どもから大人まで、みんなが支えあいながら暮らす町、町中で困っている人がいたらスルーせず声かけができる町（困っているとき気軽に誰かに相談できる環境を作ることでの負担や生きづらさを軽減することができると思ったから） ・市民、企業、役場の距離が近い町（困ったときに頼れるように） ・全ての世代が「暮らしやすさ」を感じる町（子供から老人まで疎外感を感じないのがやさしさ） ・住民同士のコミュニケーションが取れる町（交流ができる環境にいと幸せを感じる） ・住民の声（意見）が実際に施策化される町（住民の声に耳を傾け対応していくことが求められるから）

